2026 年 9 月 1 日

情報処理学会九州支部会員 各位

情報処理学会九州支部
支部長　下川　俊彦

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
日頃より、情報処理学会九州支部運営へのご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。
さて、毎年恒例の「若手の会セミナー」につきまして下記のとおり、ご案内いたします。
本年は、2026 年 12 月 4 日～12 月 5 日に佐賀県唐津市「鎮西町国民宿舎 波戸岬」にて開催します。
皆様のご参加および、若手研究者のご推薦をお願い申し上げます。

敬具

記

１．開催日時

２０２６年１２月４日（金）１３時 ～ １２月５日（土）１３時　（１泊２日）

２．会場



国民宿舎　波戸岬
〒847-0404 佐賀県唐津市鎮西町波戸 1082
ＴＥＬ：0955-82-1511
ＵＲＬ：http://www.chinzei-hadomisaki.com/

３．参加者資格

若手（自称を含む）の研究者・技術者（本会の非会員の方も可）
※定員は２０名を予定しています。（参加申し込みの先着順）

４．セミナー参加費など

参加者種別	参加費（税込）	備考
情報処理学会員学生	無料（旅費実費）	交通費一部の補助あり※１
情報処理学会員	５，０００円（旅費実費）	
非会員学生	３，０００円（旅費実費）	
非会員	１０，０００円（旅費実費）	

※1:本学会学生会員には、旅費について九州支部から一部支援の制度があります。
以下のページに「学生会員の交通費補助に関するガイドライン」を示しております。
https://www.ipsj-kyushu.jp/movepage-introduce-ipsj-k-about-ryohi-student
ご希望の方はお問い合わせください。
尚、セミナー参加費にはセミナー参加費、宿泊費、懇親会費、朝食費が含まれております。

５．セミナーの内容：

分野は限定せず情報処理技術の基礎・応用に関する幅広いテーマを募集致します。
本年は、一般の研究発表セッション（発表１５分、質疑５分）と萌芽的研究発表セッション（プレゼン５分～１０分、残りを全員で意見交換）を設けていますので、通常の研究発表だけでなく、意見交換や交流を目的とした発表でも大歓迎です。
※なお、本年度より紙の予稿集は発行いたしませんのでご理解賜ります様お願いします。
また、優秀な論文および発表には「情報処理学会九州支部奨励賞」を設けております。
（ただし、受賞対象者は，本会学生会員及び研究発表セッション参加者に限定）
※萌芽的研究発表は授賞対象に含まれません。
みなさま奮ってご応募ください。

６．セミナープログラム：

下記スケジュール（予定）の第１セッション、第２セッションにて、研究発表・意見交換を実施します。

12 月 4 日（金）	12 月 5 日（土）
13：00　受付開始 13：30　開会あいさつ 13：40 ～　第１セッション <3 篇> （一般の研究発表） 14：50 15：00 ～　特別講演１（企業） 16：00 16：10 ～　第１セッション <3 篇> （一般の研究発表） 17：20 18：00～　懇親会 21：00	09：00 ～　特別講演２（大学） 10：00 10：10 ～　第 2 セッション （一般の研究発表）<3 篇> （萌芽的研究発表、<3 篇> （意見交換） 12：30　※奨励賞表彰審査 12：50　奨励賞表彰＆ 閉会あいさつ 13：00　解散

特別講演１（企業）

テーマ①：AI と産学キャリア
講　師　：富士通研究所　櫻井　大督

テーマ②：AI を作る前に課題を見つけろ
～データ＆AI ビジネスの最前線と、DX を成功に導く仮説検証の進め方～
講　師　：富士通 Japan 株式会社　堺　稔

特別講演２（大学）

テーマ：インターネット上における DNS から見たサイバーセキュリティ

講　師：大分大学　一瀬 光

７．参加申込方法

下記参加申込フォームにて、必要情報を記入して『送信』を押下してください。

https://forms.cloud.microsoft/Pages/ResponsePage.aspx?id=HRKfoeGBWEip2HNuJn_Ux_I4EC5alrZGk7A6KnqzWy5UQlA0NDMyQ1kyREkxUEcxREhXRjdUVURZWS4u

８．参加申込締切り

２０２６年１０月３０日（金）１７時　（ただし先着２０名で締め切ります）

９．発表原稿提出方法

最終原稿の PDF ファイルを指定の「１２．問い合わせ先」に送付をお願いします。

その際、ファイル名を「大学_氏名.pdf」としてください。

なお、提出は何度行っても構いません。提出期限前の最新のものを最終原稿といたします。

提出期限：２０２６年１１月１３日（金）１７時

【セッション１・２：一般の研究発表原稿について】

Ａ４用紙。縦置き横書き。１ページ目にタイトル、所属、著者名、概要（300 文字程度）を記載。左右に 25mm、上下に 30mm 程度の余白。ページ数は２～６ページ程度とし、ページ番号は振らないでください。

下記の情報処理学会の論文フォーマットのページにある「研究報告用原稿日本語テンプレート」もご参照下さい。

http://www.ipsj.or.jp/journal/submit/style.html

(但し、上記テンプレートファイルを使用する場合、ヘッダーを「情報処理学会九州支部若手の会」とし、フッターのコピーライト表記は削除してください。)

【セッション２：萌芽的研究発表（意見交換）原稿について】

Ａ４用紙。縦置き横書き。１ページ目にタイトル、所属、著者名、概要（300 文字程度）を記載。２ページ目以降はフリーフォーマットで、研究における苦労した点、アピールポイントなどを記載して下さい。

１０．情報処理学会　学生会員へのお申し込みについて

情報処理学会では、大学院博士課程までに在学中の方を対象に、費用の面など、様々な優遇措置が受けられる「学生会員」を募集しています。

本「若手の会セミナー」ご参加を機会に当学会「学生会員」へのご入会をお勧めします。

学生会員が受けられるサービス及び、入会申し込みについては、以下の URL をご参照下さい。

[学生会員サービス]

http://www.ipsj.or.jp/member/service-gakusei.html

[入会申込書（学生会員）]

https://service.kktcs.co.jp/smms2/c/ipsj1/request_member_ipsj

１１．過去の若手の会参加者の感想

■参加者 A さん

私は今回、若手の会セミナーに初めて参加しました。

指導教員から「セミナーや学会で発表する経験は必ず成長につながる」と背中を押され、自分の研究を客観的に磨く機会になると考えたためです。自分以外の人の発表を聴いていると、取り組んでいる研究がどれも興味深く、今後の自分の研究に大いに参考になりました。また、質疑応答では鋭い指摘と温かな励ましをいただき、普段の高専生活では得がたい貴重な経験になったと感じています。来年は今回いただいた示唆を反映し、より完成度の高い成果を携えて再びこの場に戻って来ることを目標に、これからも精進します。

■参加者 B さん

私は今回、指導教員の勧めで初めて若手の会セミナーに参加しました。これまで学外での研究発表の経験がなく、当初は緊張と不安もありましたが、実際に参加してみて非常に有意義な時間を過ごすことができたと感じています。発表の場では、自分の研究について他大学の先生や学生の方々から貴重なご意見やご質問をいただき、今後の研究の方向性について新たな視点を得ることができました。また、自分とは異なる分野の発表を聞くことで、研究手法や課題設定の考え方など、学びの多い時間となりました。特に印象に残っているのは、1 日目の夜に行われた懇親会です。他大学の学生と食事をしながら交流でき、研究の話だけでなく、学生生活や将来の進路などについても情報交換をすることができました。このような場があったことで、一気に距離が縮まり、参加して本当に良かったと感じています。今回の経験を通して、積極的に外に出て、さまざまな価値観や知見に触れることの大切さを実感しました。この貴重な経験を今後の研究活動や学生生活にしっかりと活かしていきたいと思います。

１２．問い合わせ先

富士通 Japan 株式会社　Public＆Education 事業本部
渋谷　彰
(akira.shibuya@jp.fujitsu.com)
武田　周一郎
(s_takeda@jp.fujitsu.com)

以上